

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。
スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。
現在の登録件数：4,909 件



INDEX

❖ 〈特別企画〉[第3回]

▶ [「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」内容紹介](#)

❖ 〈特集〉近隣クラブと連携しているクラブ

- ▶ [NPO法人調和SHC倶楽部・NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット・NPO法人コミュニティネットSSC大泉・NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF](#)
- ▶ [スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ・しらうめスポーツクラブ](#)
- ▶ [館林西スポーツクラブ、めいわスポーツクラブ](#)

❖ 〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

▶ [NPO法人おにスポの取り組み](#)

❖ 〈連載〉わがクラブの人気プログラム

▶ [ふあいぶる子ども科学実験教室 \(ふじみ野ふあいぶるクラブ\)](#)

❖ 助成金情報

▶ [申込締切:11月30日まで](#)

❖ お知らせ

- ▶ [労力半分、効果は2倍!「クラブのらくらく広報」をご活用ください!](#)
- ▶ [公認クラブマネジャー・公認アシスタントマネジャー資格の取得をおススメします!](#)
- ▶ [「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表しました!!](#)
- ▶ [「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定しました!](#)
- ▶ [スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議\(タスクフォース\)報告書について](#)
- ▶ [あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン 公式Facebookを始めました!](#)
- ▶ [2020年、オリンピック・パラリンピックを日本で! 皆さまのご協力をよろしくお願いします!](#)

あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

公式Facebook: <https://www.facebook.com/JASA.fairplay>

「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2013」 内容紹介

日本体育協会では、今後概ね5年を目途とする総合型地域スポーツクラブ育成の取り組みについて、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013(育成プラン2013)」として取りまとめ、本年7月に公表しました。

このことに関連して「育成プラン2013」を紹介する連載を開始しました。

今回は連載第3回目として「各総合型地域スポーツクラブによる自立・自律に向けた取り組み」についてご紹介します。

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/9.ikusei_plan_Vol.2.pdf

また、このたび各クラブが現状を検証するための自己評価・点検を行い、将来的な計画を立案する際の一助となるツールとして「総合型地域スポーツクラブの自立・自律に向けたチェックリスト」を作成しました。ぜひご活用ください。

- ▶「総合型地域スポーツクラブの自立・自律に向けたチェックリスト」

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/doc/check_rist_Vol.1.xls

「育成プラン2013」の内容については、本会HP上に公開中ですので、ぜひご覧ください。

- ▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」(全文)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/doc/club_ikusei_plan2013.pdf

- ▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」について(本会HP)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/394/Default.aspx>

近隣クラブと連携しているクラブ

NPO 法人調和 SHC 倶楽部・
NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット・
NPO 法人コミュニティネット SSC 大泉・
NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF
～エリアを超えた近隣 4 クラブによる連携～



キーポイント

- 同じ事業や活動に取り組むクラブ同士で情報共有
- 共通課題の解決に向けた合同研修会を開催
- お互いのクラブが持つ工夫や取り組みを共有できる

1 連携事業のきっかけ

文部科学省ではスポーツ基本法の制定を受けて、平成23年度に「スポーツコミュニティの形成促進」事業、平成24年度から「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業を実施しており、「NPO法人調和SHC倶楽部」（東京都調布市）は近隣の地域スポーツクラブをはじめとする各種団体と連携する「拠点クラブ」として本事業を受託しました。

本事業では、

- ①トップアスリート等によるジュニアアスリート支援等の実施
- ②地域の課題解決に向けた取組の推進
- ③小学校体育活動コーディネーターの派遣

という3つのテーマに取り組んでいますが、初めての試みであるため色々と苦労していました。そこで、近隣で同事業を受託している「NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット」（東京都大田区）、「NPO法人コミュニティネットSSC大泉」（東京都練馬区）、「NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF（神奈川県川崎市）」の3クラブのプロジェクトリーダーが、各々の活動を円滑に推進する上での企画・運営のポイントを互いに持ち寄って、より質の高い事業を推進するための情報交換会を実施しました。

2 連携事業の内容

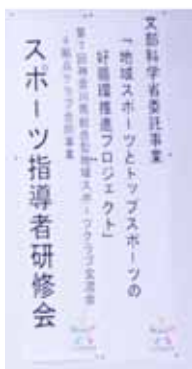
4クラブは1～2ヶ月に1回程度の会合を行い、それぞれのクラブが事業を進める上での困りごと・悩みごと、各クラブで取り組んでいる工夫などを共有しています。また、新しいアイデアを考案し、事業を進める上での課題について文部科学省に提言も行っています。

特に「質の高い指導者」を育成し、活動の質を高めることが本事業を推進する上で非常に重要なポイントであるという共通認識のもと、クラブの指導者を対象とした4クラブ合同の研修会を平成24年11月25日に開催しました。（4クラブ以外からの参加者もありました）

当日はメンタルトレーニング・コンサルタントの大儀見浩介氏、ロンドンオリンピック男子サッカーチームGKコーチの藤原

寿徳氏、サッカー元日本代表秋田豊氏という大変素晴らしいパネリストをお迎えし、非常に中身の濃いパネルディスカッションを実施することができました。

事業終了後にもここまで苦労して取り組んできた活動を継続することを視野において、行政や企業との連携を検討しています。



3 連携事業で得られたもの

国としての新たな取り組みであるため、各クラブが試行錯誤する中、他クラブでの優れた取り組みや工夫を自クラブにも取り込むことによって、質の高い事業を推進することができています。

また、各クラブ単位で開催するレベルではお呼びできないような素晴らしい講師の方々に講演していただき、大変質の高い研修会を開催することができました。研修会では、クラブで現場を持っている指導者同士が他クラブの指導者の考えや課題を共有する機会となり、各指導者にとっても大変意義深い場にすることができました。

1クラブでは限度がある活動でも、各クラブが持つ人脈などを持ち寄ってフルに活用することで、「1+1」が5や10になるような相乗効果を生み出すことができています。

4 今後の展望

本事業も3年目を迎え、各クラブが蓄積しているノウハウを互いに共有することでさらに効果的な事業推進を行う一方で、今年度は「拠点クラブ」としての新たな取組みとして「次世代のスポーツクラブ経営者の育成促進を目的とする合同研修会」を実施し、様々な団体とこれまで以上に連携するきっかけ作りを行うことを予定しています。

また、本事業終了後にもこれまで培ってきたことをさらに展開することができるよう、行政、企業、各種団体と連携し、様々なことにチャレンジしていきたいと考えています。



(NPO法人調和SHC倶楽部 理事 佐野 宏)

NPO法人調和SHC倶楽部

設立年月日：平成14年9月

地 域：東京都調布市とその周辺の地域

運 営：会員数…1,147名(平成25年3月時点) 予算規模…約3,000万円(平成24年度)

連 絡 先：〒182-0007 東京都調布市菊野台3-27-40

TEL・FAX:042-498-8828

E-Mail: info@npo-chowashc.jp

URL: <http://npo-chowashc.jp>

※NPO法人調和SHC倶楽部では、「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業に関する情報発信サイトを運営しています。 <http://enjoy-sports.org>

NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット

設立年月日：平成4年12月26日

地 域：東京都大田区

運 営：会員数…約400名

連 絡 先：〒143-0027 東京都大田区中馬込 1-1-17-504

TEL/FAX：03-3776-5113

URL： <http://p-foot.jp/>

NPO法人コミュニティネットSSC大泉

設立年月日：平成15年8月13日

地 域：東京都練馬区

運 営：会員数…約1,200名(平成25年度) 予算規模…約7,500万円(平成25年度)

連 絡 先：〒178-0061 練馬区大泉学園町5-14-24 区立大泉学園町体育館内

TEL/FAX：03-3921-1300

E-mail: ssc-oizumi@nerimassc.gr.jp

URL: <http://nerimassc.gr.jp/sscoizum/>

NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF

設立年月日：平成18年2月26日

地 域：神奈川県川崎市高津区

運 営：会員数…1,620名(登録数4,659名) 予算規模…24年度決算252,526,000円

連 絡 先：〒213-0011 川崎市高津区久本3-11-2 川崎市立高津中学校内

TEL:044-833-2555 FAX:044-833-2555

E-Mail: info@takatsuself.com

URL: <http://takatsuself.com/>

近隣クラブと連携しているクラブ

「スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ」「しらうめスポーツクラブ」 ～共同から協働へ～



キーポイント

- 県連絡協議会の制度を活用し連携
- 2クラブで新規事業を展開
- より密接に連携する「協働」へ発展

1 連携事業の概要

岡山県真庭市にある「スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ(以下、スポレくせ)」と「しらうめスポーツクラブ(以下、しらうめSC)」では、合同で雪山イベントを行ったことを契機に以下の連携事業を行っています。

事業概要

事業名(1)	雪山イベント スキー教室&スノーシュー in 大山
経緯	両クラブがそれぞれ冬季に雪山イベントを行っていた
運営面	両クラブ名で募集案内 スポレくせがスノーシュー教室を担当、しらうめSCがスキー教室を担当。また、どちらの事務局でもイベントの問合せ・受付を可能とし、全体の準備はお互いの事務局が分担・連携
良かった点	会員にとっては種目の選択肢が増えた。クラブにとっては指導者の有効活用・事務局の業務分担・参加が少なかった年齢層の参加を促進(スポレくせ：子ども、しらうめSC：中高年)

事業名(2)	ソフトバレーナイターリーグ交流戦
経緯	それぞれが違う時期に、2～3週間の夜間リーグを開催していた
運営面	2～3カ月間のリーグ戦を合同で開催 お互いの役員と事務局で業務分担
良かった点	会場が広くなり、対応できる試合数が増えたことで、地区内に限っていた募集を、市全域に広げることができ、より多くのチームと試合ができるようになった 準備・運営を分担することで業務の軽減ができた

事業名(3)	夏まつり
経緯	しらうめSCからクラブの認知度向上と、地域活性に向けてイベントを行いたい旨の相談があった
運営面	両クラブで実行委員会を組織
良かった点	1,000名を超える参加者があった お互いのスタッフ・役員がそれぞれの役割・動き方などで刺激あい、組織の連携強化にもつながった

2 きっかけ

スポレくせとしらうめSCでは、冬季にそれぞれ雪山イベントを行っていましたが、それぞれの会員から「スキー教室があったらいいのに」「スキーは難しいのでもっと簡単に楽しめる教室があれば」などの声が上がってきました。

そこで、総合型地域スポーツクラブ岡山協議会のエリアネットワーク事業として近隣クラブとの連携を支援するという岡山協議会独自の制度を活用し、平成22年に合同で雪山イベントを開催しました。このイベントを契機に、それぞれでソフトバレーボール大会を実施していたことから、合同でソフトバレーボールのリーグ交流戦を開催しています。



3 夏まつりの開催

連携が進む中で、しらうめSCのクラブマネジャーが「現在、スポーツをしていない人にも『しらうめSC』を知ってもらいたいので、スポーツイベントという枠だけにとらわれない、地域の住民全員に楽しんでもらえるイベントはないか」とスポレくせに相談を持ちかけました。そこで、これまでスポーツをしていない人でも楽しんでもらう仕掛けとして、夏まつりを両クラブで連携して協働開催することになりました。

まず、クラブマネジャーなどの事務局だけでは対応しきれない大規模イベントとなるため、両クラブの運営委員で構成する実行委員会を組織しました。実行委員会のメンバーは会議を重ね、起こりうるであろう様々な課題をクリアしていき、大規模イベントを成功に導きました。



4 連携のメリット～共同から協働へ～

両クラブの連携事業からは、3つのメリットがあると考えられます。

- 1クラブで実施するよりも規模の大きな事業が展開できる。
- それぞれが持つ得意分野を活かすことで効率的に運営できる。
- 地域の情報を共有できる。

当初、両クラブの取り組みでは、それぞれが行う既存事業の中で同一・類似する事業を合同で開催するという「共同」の連携でしたが、夏まつり事業のように両クラブで新たに事業展開し、お互いの得意分野を活かした役割を担っていくという、いわば「協働」の連携に発展しているといえます。

その後も、お互いの野球サークル同士の交流試合や、スポレくせの指導者がしらうめSCで新規プログラムとしてダンススクールを開設するなど、新たな活動につながっています。

今後さらなる発展に向けて、それぞれのクラブの得意分野を活かして密に連携していくことが大切であると考えています。

(岡山県クラブアドバイザー 野上 幸恵)

スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ

設立年月日：平成15年5月11日

地 域：真庭市久世地域

運 営：会員数…482名(平成25年9月末現在) 予算規模…約1,200万円(平成24年度)

連 絡 先：〒719-3201 真庭市久世266-2 久世体育館内

TEL/FAX:0867-42-5430

E-Mail: sporekuse2003@blue.ocn.ne.jp

しらうめスポーツクラブ

設立年月日：平成19年2月25日

地 域：真庭市落合地域

運 営：会員数…260名(平成25年9月末現在) 予算規模…約900万円(平成24年度)

連 絡 先：〒719-3143真庭市下市瀬586-3白梅総合体育館内

TEL:0867-52-5905 FAX:0867-52-5902

E-Mail: shiraumeclub2007@shiraume-park.jp

近隣クラブと連携しているクラブ

館林西スポーツクラブ、めいわスポーツクラブ ～指導者派遣から会員の相互交流へ～



キーポイント

- クラブが近隣クラブへ指導者を派遣することで新規教室開設
- 新規教室開設からクラブ内指導者の養成につながる
- 両クラブ会員の相互交流につながる

1 連携の概要

「館林西スポーツクラブ」(群馬県館林市)と隣町の「めいわスポーツクラブ」(群馬県明和町)では、めいわスポーツクラブで新規教室を開設する際に館林西スポーツクラブが指導者を派遣したことから指導者の養成に発展し、現在では会員間の相互交流が行われています。

2 指導者派遣から新規教室を開設!

館林西スポーツクラブは、ラジオ体操愛好者が設立したクラブであることからラジオ体操教室を取り入れています。連携のきっかけは、平成24年にめいわスポーツクラブの武井副理事長より「ラジオ体操教室を開催したい」と館林西スポーツクラブに要請があったことに始まります。要請を受け、NPO法人全国ラジオ体操連盟公認の「1級ラジオ体操指導士」資格を保有している館林西スポーツクラブの石山理事が、平成24年度からめいわスポーツクラブのラジオ体操教室の指導を行いました。

その後、めいわスポーツクラブ内からラジオ体操指導士資格を取得したいという要望が出てきたため、館林ラジオ体操協会の事務局長である石山理事が協会に要請し「ラジオ体操(第1及び第2)・みんなの体操指導者養成講習会」を開催しました。結果、めいわスポーツクラブ内に10名のラジオ体操指導員資格保有者を育成することができました。

現在、めいわスポーツクラブでは、毎朝6時30分と毎週土曜日9時30分からラジオ体操教室を開催し、20名でラジオ体操を楽しんでいます。





3 会員の相互交流に発展!

館林西スポーツクラブとめいわスポーツクラブでは、ラジオ体操教室での指導者派遣を契機に会員の相互交流が行われています。

館林西スポーツクラブが県内外のゴルフ場で毎月第3水曜日に開催しているゴルフ教室には、めいわスポーツクラブの会員も参加できることとなっており、交流を深めています。両クラブの会員であれば自由に参加でき、参加料などの必要経費は参加者それぞれで支払っています。

また、両クラブではともにスポーツ吹き矢教室を開催しており、同じ指導者のもとで行っていることもあります。スポーツ吹き矢協会で開催する大会には、両クラブから参加しています(参加料:1人当たり500円)。

今後は、両クラブ共催によるスポーツ吹き矢交流大会も実施していく予定です。



(群馬県クラブアドバイザー 梅澤 光枝)

館林西スポーツクラブ

設立年月日：平成22年2月26日

地 域：館林西公民館及び第十小学校区・4,000世帯対象

運 営：会員数242名(平成25年7月現在) 予算規模：約240万円(平成25年度)

連 絡 先：〒374-0042群馬県館林市近藤町178-39 第十小学校気付

TEL:080-1301-1212

E-Mail: kazumi-2@mpd.biglobe.ne.jp

めいわスポーツクラブ

設立年月日：平成23年2月27日

地 域：明和町全地域

運 営：会員数70名(平成25年4月現在) 予算規模：約20万円(平成24年度)

連 絡 先：群馬県邑楽郡明和町南大島1105-2

TEL:0276-84-3382

E-Mail: h.takei@hb.tp1.jp

NPO法人おにスポの取り組み



キーポイント

- 被災地の方々の「生きがい・やりがい」を取り戻すため、木工加工工房を開設
- 白樺の樹を仮設住宅にお住まいの方が工芸品に加工、販売
- 支援したい側と支援を受けたい側との思いのバランスをとることが大切

1 福島県葛尾村での支援活動

名 称	平成 24 年度「福島県総合支援（地域協働モデル支援事業）受託事業」 仮設住宅における生きがい作り構築支援事業（ふく福プロジェクト）
実 施 期 間	平成 24 年 10 月～現在 ※県委託事業としては平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月
支 援 先	福島県葛尾村
支援対象者	葛尾村仮設住宅にお住まいの方々
内 容	福島県の委託事業を受け、仮設住宅に木工加工工房「 ゆめこうぼうかつろう 夢工房葛桜」を開設、北海道十勝産白樺の樹を、仮設住宅にお住まいの方々がフクロウに加工した工芸品を販売。その収益は復興支援金に充当した。



2 支援活動のきっかけ

「NPO法人おにスポ(以下、クラブ)」(北海道登別市)が支援活動を行うようになったきっかけは、日本体育協会公認クラブマネジャー養成講習会で同期受講生だった「NPO法人半九レインボースポーツクラブ」(宮崎県宮崎市)の澤山さんが東日本大震災直後から被災地支援活動を行い、現地の情報を発信してくださっていたことに始まります。

その澤山さんと一緒に平成24年に福島県葛尾村を訪問した際に「かつらおスポーツクラブ」の中島会長から被災地の状況を伺い、当クラブとして何かできないかと検討する中で、仮設住宅にこもりがちの方々に「生きがい・やりがい」を提供するべきだと考えました。そこで、平成24年度に福島県が公募していた「地域づくり総合支援事業(ふるさと・きずな維持・再生支援事業)」に、仮設住宅に木工加工工房「夢工房葛桜」を開設、被災地の方が工芸品を作り販売することで「生きがい・やりがい」

い」を取り戻すという内容の「ふく福プロジェクト」を提案し、受託しました。

3 ふく福プロジェクト

「ふく福プロジェクト」は、かつらおスポーツクラブの中島会長から希望を受けて事業化したものであり、このプロジェクトと併せて夢工房葛桜で物産展や講演会も開催しました。

しかし、北海道という遠方から福島県内の事業を進めることは予想以上に大変でした。工房開設のために仮設住宅の土地を借りる必要があるなど、知らない土地で知らない方々と関係を持つことは容易ではなく、限られた時間の中で何度も現地に足を運びました。そのおかげもあり、葛尾村教育委員会との連絡・調整など現地で活動していただくコーディネーターを雇うことができ、また全国有数の白樺産地である北海道十勝に所在する「NPO法人幕別札内スポーツクラブ」の協力を得て、白樺の調達・伐採・剪定・梱包・輸送などを行うこともできました。

主な経費

項 目	金 額	備 考
人件費	25 万円	現地コーディネーター、クラブスタッフ現地活動報酬
謝金	10 万円	講師謝金
旅費	20 万円	
需用費	50 万円	消耗品、印刷製本費など
雑役務費	10 万円	
委託費	30 万円	白樺の樹伐採、梱包、輸送費など
工事請負費	100 万円	建築工事
リース費	90 万円	物件の賃貸料

4 プロジェクトの成果

このプロジェクトでは全てが思惑通りに進んだとは言えませんが、仮設住宅にこもりがちだった男性の高齢者が工房に集まるきっかけづくりができました。実際に工房を訪れた男性たちから「男の遊び場だぁ」という声が聞かれ、仮設住宅の一步外に出るきっかけづくりになったと感じました。また、子どもたちも「夢工房に集合!」と元気に遊んでいることから仮設住宅の方々にもこの工房が認知されてきたと感じています。

平成25年度は福島県の委託事業を受けることができなかったため、人件費等はボランティア対応となりましたが、各種イベントなどでの募金を活用して事業を継続しています。

支援活動の中で気を付けていることは、支援する側の思いだけで事を進めないことです。支援活動である以上、被災地の方々が喜ぶ活動である必要がありますが、支援する側としてはどうしても自分たちの思いや都合を前面に出しすぎてしまう傾向があり、それがかえって被災地の方々の迷惑となることもあります。支援したいという思いと支援を受ける方々の思いとのバランスを取り、良い関係をつくることが大事だと思います。

(理事長 磯田 大治)

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年2月27日(法人登記:平成25年3月19日)

地 域：北海道登別市全域

運 営：会員数 400名(平成25年3月現在) 予算規模:約2700万円(平成25年度)

特 徴：駅前の空き店舗を活用したクラブハウスが特徴。25年度からは運動施設以外の公共施設の指定管理者となり、市民活動全体を視野に入れた取り組みを行っている。

連 絡 先：〒059-0014 北海道登別市富士町4丁目6番地2

TEL/FAX:0143-81-7444

E-mail: noboribetsusc@yahoo.co.jp

URL: <http://onispo.web.fc2.com/>

ふあいぶる子ども科学実験教室（ふじみ野ふあいぶるクラブ）

プログラム概要

- 実施頻度：2～3ヶ月に1回（年間4～5回）
- 場所：市内小学校図工室など
- 参加者層：小学生（1～6年生）の男女及びその保護者
※子どもだけでなく親子参加型の教室として実施する場合もある
- 定員：20名～40名
- 参加料：500円～1,000円／回
- 実施種目：理科（科学、技術、電気、化学など）の実験・体験
- 経費：材料費（数千円）、講師謝金（5,000円程度）、ボランティアスタッフ謝金（1,000円程度）、チラシ印刷費（5,000～10,000円程度）など
- 運営：企画運営を行う「ふあいぶる科学班」及び事務局スタッフ計10名
※1回開催あたり6名程度で運営
- 教室名（題材）：「色が変わる焼きそば（水溶液の不思議）」
「自転車の仕組みを調べよう（自転車の分解）」※市教育委員会主催、クラブ主管
「ドライアイスであそぼう（ドライアイスの不思議）」
「静電気モーターをつくろう（静電気の不思議）」など
- 工夫点：実験は4人1グループとし、それぞれのテーブルに子どもの保護者で構成する「ふあいぶる科学班」スタッフを配置し、安全面に配慮している。

1 プログラム導入の背景

- 「ふじみ野ふあいぶるクラブ（以下、クラブ）」（埼玉県ふじみ野市）では、以下の背景からプログラムが作られました。
- 地域に子ども達が対象の理科（科学など）をテーマとした活動プログラムがなかった。
 - 学校現場においても理科の実験は専門的な知識・技能が必要であり、準備時間を要することから子ども達が満足するほど十分には実施されていないと思われた。よって、小学生が実験を体験し、学び楽しむ機会づくりへの要望（ニーズ）があった。
 - クラブが目標とする「生涯学習及び学校教育の支援」を形にできる活動を行いたかった。また、地域の働き盛りの世代が活動を支え、参加できる場を作りたいと考えた。
- これらの理由から、クラブにおいて「子ども科学実験教室」プロジェクトが動きだしました。

2 プログラムの運営

クラブの方針に共感していただいた保護者がリーダーとなり、大学や専門学校で理系出身、あるいは理系・技術系などの仕事をされている保護者に声をかけをしました。そして、それぞれが持っているスキルを活かし協力するボランティア「プロボノ」として集まっていただき、企画運営チームがつけられました。その名も「ふあいぶる科学班」です！

「ふあいぶる科学班」スタッフによる企画運営（アイデア）ミーティングでは、理科・技術の専門用語が飛び交いながら、いつも大変盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきます。最終的には、子どもがいかに楽しみ体験できるかという観点で工夫を施した内容にするほか、知り合いのお子さん方に参加してもらって予備実験を行うなど準備も万全にします。その甲斐あってか、参加希望者数は回を重ねるごとに増え、先日（平成25年8月）開催した「ドライアイスであそぼう（ドライアイスの不思議）」

議)」では、受付開始20分程で定員となり、急遽開催回数を増やしました。

3 人気のポイント（他クラブへのアドバイス）

「理科実験の体験」は、スポーツと同様に総合型クラブが「テーマコミュニティ」として子どもたちを育む場をつくるだけでなく、今まで地域活動に関わりがなかった方々が参加し、つながる機会づくりになる可能性を秘めていると思います。また、行政の生涯学習関連部署や学校との新たな関係構築につながる可能性もあり、総合型クラブにとって大変プラスになります！
※テーマコミュニティ…主に地域社会などにおいて特定の地域課題をテーマとして集った集団を指します。

4 今後について

開催場所や開催回数を増やして欲しいという要望もありますが、そのためには課題である施設面（現在、公民館などの公共施設が利用できず、学校教室開放の活用に限定されているため開催場所が限られていること）や人材面（ふあいぶる科学班スタッフ数の不足）について取り組む必要があります。現在、行政の関係部署と密に連携をとって進めており、先行きは明るいと思います。さらに協働推進部署などを通じ、地元企業や技術系企業のCSR（社会的責任）との連携も、模索していきたいと思っています。

今後は、地域子ども達にとって「理科実験を体験して、学び楽しむ場」として定着していけばと思います。将来「科学オリンピック」に出場する子どもが出る日を夢見ています。また、働き世代のお父さん達が地域活動に参加できる場のモデルにもなっていけばと思い進めています。



クラブプロフィール

設立年月日：平成21年3月8日

地 域：埼玉県ふじみ野市内全域(6中学校区)

運 営：地域人口 109,837人(2013年10月1日現在)
会員数 440名(2013年10月1日現在)
予算規模 約2,000万円(スポーツ振興くじ助成金含む)

特 徴：都市部のベッドタウンに位置し、小・中学生及びその保護者層(20～40代)を主な対象としている。またスポーツ振興のみならず、生涯学習・学校教育の支援、子育て支援等の分野でも、市と連携・協働ができるよう取り組みを行っている。

連 絡 先：〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1(ふじみ野市役所敷地内)
ふれあいプラザかみふくおか2F ふじみ野ふあいぶるクラブ事務局
TEL:0120-961-184 FAX:049-293-8457
E-mail: fujimino_ssc@yahoo.co.jp
URL: <http://fujimino-ssc.com>
Facebook: facebook.com/fujimino.ssc

助成金情報

申込締切: 11月30日まで

- ▶「平成26年度年賀寄附金配分団体」公募(日本郵便株式会社)
[11月15日(金)当日消印有効]
http://www.post.japanpost.jp/kifu/topics/h250830_01.html
- ▶「2014年度JT NPO助成事業」募集(日本たばこ産業株式会社)
[11月20日(水)当日必着]
<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/entry/index.html>
- ▶「きれいな川と暮らそう」基金(公益社団法人日本河川協会)
[11月30日(土)当日消印有効]
<http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/index.htm>

[INDEXへ ▲](#)

お知らせ

●労力半分、効果は2倍!「クラブのらくらく広報」をご活用ください!

日本体育協会では、クラブが会員募集や認知度向上のために行う広報活動をより効果的に行うためのガイド「クラブのらくらく広報」を本会HP上に公開しています。

実際に活用いただいた方から好評の声をいただいております!

「クラブのらくらく広報」では、クラブが新聞社に対して行うニュースリリース(情報提供・取材依頼)の手法を掲載しています。新聞社の目に留まりやすくなる見出し例も紹介していますので、ぜひご活用ください。

- ▶「クラブのらくらく広報」
<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

●公認クラブマネジャー・公認アシスタントマネジャー資格の取得をおすすめします!

日本体育協会では、クラブ業務を合理的に行い、効果的な事業計画を企画・立案する上で必要となる一定以上の専門的な知識・技能を身に付けた人材を充実させるため、「公認クラブマネジメント資格」講習会を実施しています。

公認クラブマネジメント資格には、クラブ運営を中心的に担う方を想定した「公認クラブマネジャー」と、クラブマネジャーとともにクラブ運営を補佐する方を想定した「公認アシスタントマネジャー」の2つの資格があります。

ご自身のクラブの自立・自律に向けて、ぜひ本会公認クラブマネジメント資格を取得してみませんか。

【詳しい資格内容や講習会情報についてはこちらから】

▶ 公認クラブマネジメント資格について

- ・クラブマネジャー

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

※平成25年度の養成講習会については、すでに申込みを終了しています。

なお、平成26年度の養成講習会については、平成26年4月頃に申込み受付を開始する予定です。

- ・アシスタントマネジャー

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/220/Default.aspx>

※養成講習会の日時・会場等については、各実施団体に直接ご確認ください。

●「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表しました!!

日本体育協会では、スポーツ指導者育成事業の今後概ね5年間の方針を示した「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013」を公表しました。

これは本会が目指す「スポーツ立国の実現」のため、スポーツ指導者のさらなる量的拡大と質的向上を目的とするものです。本プランでは有資格指導者の拡充など4つの基本方針とそれに基づく重点施策を策定し、施策ごとに数値目標を設定しました。

本会では今後、プランに示された目標の達成を通して、望ましい社会の実現に貢献するため各種施策を推進していきます。

本プランの内容については、本会HP上に公開中ですので、ぜひご覧ください。

- ▶ 「スポーツ指導者育成事業推進プラン2013ー『スポーツ立国の実現』を目指してー」(全文)

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/plan01.pdf>

- ▶ 本会が現在実施しているスポーツ指導者育成事業について

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/63/Default.aspx>

●「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定しました!

スポーツの意義や価値が改めて問われている昨今、日本体育協会では、スポーツ指導者の望ましい考え方や行動についてガイドラインを策定しました。

本ガイドラインでは「スポーツの価値」「プレーヤーズファースト」「フェアプレー」の視点から、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をサポートするためのプレーヤーと指導者の望ましい関係づくりについて解説しています。

また、暴力やハラスメントなどの反倫理的行為が起きる背景や影響、指導者としての注意点なども網羅しています。

総合型クラブの現場で活動されているスポーツ指導者をはじめ、運営スタッフやクラブ会員の保護者などスポーツに関わる皆さまに読んでいただき、本ガイドラインの趣旨を共有することで、スポーツ界から反倫理的行為を根絶するための一助となれば幸いです。

- ▶ 「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/677/Default.aspx#book06>

●スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書について

文部科学省では、スポーツ指導において暴力を行使する事案が明らかになったことを受け、「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)」を設置し「新しい時代にふさわしいスポーツの指導法」のあり方について検討を行ってきました。

このたび、本タスクフォースの報告書がまとまり、公表されました。

我が国のスポーツ指導の場から今後、暴力が一掃されるよう、皆さまのご協力をお願いします。

- ▶ スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)報告書

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/017/toushin/1337250.htm

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン公式Facebookを始めました!

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中です。

このたび、本キャンペーンをより多くの方に知っていただくために本キャンペーンの公式Facebookを立ち上げました!

Facebookをご利用の方は、ぜひ本Facebookページにアクセスいただき、「いいね!」や「シェア」を押していただくなど、本キャンペーンのPRにご協力をお願いします。

- ▶ 「フェアプレイ日本を元気に」キャンペーン公式Facebook

<https://www.facebook.com/JASA.fairplay>

また、このたびパラリンピアンであり2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動でも活躍された佐藤真海選手にもフェアプレイ宣言いただきました！

<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/people/index.html>

日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

- ▶ フェアプレイ宣言など、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●2020年、オリンピック・パラリンピックを日本で！皆さまのご協力をよろしくお願いします！

去る9月8日に2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定しました！！

皆さま方からの長きにわたるご協力に感謝申し上げます。

これからの7年間、日本中に「オリンピズム」を浸透させ、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を私たちの手で成功させましょう！

ますますのご協力をお願いします！

- ▶ 2020年オリンピック・パラリンピック東京招致の成功について(本会会長 張富士夫のコメント[本会HP])

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2696>

- ▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会

HPはこちらから

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

●公式メールマガジンへの登録をおススメください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。おかげさまで、現在約4,900の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方におススメください。

よろしくお願いします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会HPのトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

- ▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。

周りの方にもぜひ登録をおススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから
<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、
再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ ▲](#)